

第31回オールジャパンレディスボウリングトーナメント 「スポーツ振興基金助成事業」 開催要項

主催 公益財団法人全日本ボウリング協会
後援 公益財団法人福島県体育協会 郡山市教育委員会 郡山市体育協会
(予定) 公益社団法人日本ボウリング場協会 全国ボウリング公認競技場協議会
女性スポーツ財団日本支部 (WSFジャパン)
協賛 株式会社サンブリッジ ミーフコーポレーション
主管 福島県ボウリング連盟

開催期日 平成30年6月1日(金)～3日(日)

競技会場 ボウルアピア郡山 (JBC 公認競技場 No.107-16 BM44L)
〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11-7
TEL:024-922-7272 FAX:024-922-7273

競技種目 部門別個人戦
(1) ヤングの部 (2) ミドルの部 (3) シニアの部

年齢区分 (1) ヤングの部 平成30年4月1日現在 満44歳以下の者
(2) ミドルの部 平成30年4月1日現在 満45歳以上59歳以下の者
(3) シニアの部 平成30年4月1日現在 満60歳以上の者

競技方式 デュアルレーン方式(アメリカ方式)で実施する。

競技方法 【予選】

ヤング・ミドル・シニア各部門とも9ゲームの競技を行い(3ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点上位より各部門21名をセミファイナル出場者とする。

【セミファイナル】

各部門とも更に3ゲームの競技を行い、予選との12ゲームの総得点により上位3位までの者をファイナルマッチ出場者とする。

4位以下の順位は、セミファイナル終了時の総得点で決定する。

【ファイナルマッチ】

ステップラダー方式で行う。各部門とも3位の選手と2位の選手が1ゲームマッチの競技を行い、その勝者が1位の選手と1ゲームマッチの競技を行い、勝者を各部門の優勝者とする。

L ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

競技規程 JBC ボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定 予選・セミファイナルにおいて同位が生じた場合は、第 133 条に基づき裁定する。
ファイナルマッチで同点の場合は、9・10 フレームの決定戦により順位を決定する。

H D C P ヤングの部・ミドルの部はすべてスクラッチとする。
シニアの部は 1 ゲームにつき下表の HDCP を与える（ファイナルマッチにも与える）。

年 齢	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80 歳以上
HDCP	0	5	10	15	20

年齢基準は、平成30年4月1日現在の満年齢とする。

参加資格 平成30年度の JBC に登録している女性会員（個人正会員、個人普通会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）で、各都道府県連盟および学生連合より代表選手として推薦された者。

参加割当 基本割当は各都道府県連盟、学生連合とも 1 団体につき 3 名とする。
ボーナス割当は次の通りとする。

- ・ 全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバーは参加資格を与える
- ・ 前年度各部門優勝者は参加資格を与える（施設使用料は主催者が負担する）
- ・ その他は JBC 競技委員会において決定する

施設使用料 1 名につき

個人正会員、個人普通会員、実業団会員

11,800 円（JBC 負担 1,800 円、参加者負担 10,000 円）

学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員

10,800 円（JBC 負担 1,800 円、参加者負担 9,000 円）

褒 賞 ヤング・ミドル・シニアの各部門とも
優勝 賞状・メダル・カップ（取り切り）
準優勝～第 6 位 賞状・メダル
ハイゲーム賞 盾（予選 9G を対象、スクラッチ、同点の場合は該当者全員）
ベストドレッサー賞 3 名
参加賞 参加者全員に贈る

特 典 各部門優勝者は来年度の第 32 回大会はシード選手として施設使用料を主催者が負担する。

申込方法 各都道府県連盟および学生連合にて取りまとめの上、所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、施設使用料を添えて、締切までに下記申込先へ申し込むこと。
（E-Mail 提出にご協力ください）

ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

申 込 先 〒960-0101 福島県福島市瀬上町字町裏6-1 (株)ビルエース内
TEL:024-553-4422 FAX:024-552-1523
Eメールアドレス jbc-fukushima@b-ace.co.jp

申 込 締 切 平成30年5月2日(水) 必着

送 金 先 別紙送金明細書参照のこと。送金締切日は平成30年5月8日(火)厳守のこと。

- 注 意 事 項**
- (1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害等により大会を中止した場合、旅費、宿泊費の補償はしない。
 - (2) 公認ゲーム消化証明は、各団体の責任において確認すること。
 - (3) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
 - (4) ボールについて
 - 参加選手は、会場内に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。ボールの登録は、2個目から1個につき500円を納入するものとする。5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。ボールの追加登録は原則として認めない。
 - 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円(硬度検査のみは200円)とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
 - 会場内へのボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
 - 競技中に参加全選手の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
 - (5) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
 - (6) 開会式には監督が参加すること。女性だけの唯一の全国大会のため、できるだけ監督も女性を選任すること。